

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月19日
事業者名:	加藤土木株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	作業現場における仮設トイレ設置時には、働きやすい職場環境作り推進のため、安心・安全で快適に使用できる仕様の「快適トイレ」を導入します。	⑥安全な水とトイレを世界中に、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさも守ろう	【令和5年度実績】 仮設トイレ設置に占める「快適トイレ」の設置率 75%	指標	仮設トイレ設置時の「快適トイレ」選択率
				目標	令和6年度以後/年 100% を目指す
社会	地域社会に貢献することを目的として、清掃や除草、環境整備等のボランティア活動を積極的に行う。 また、地域の災害発生時における各種支援体制を構築し実行する。	⑪住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう、⑮陸の豊かさも守ろう	【令和5年度実績】 道路清掃：3回、花壇整備：4回、林道・遊歩道整備：1回 計8回（16日間）ボランティアを実施	指標	ボランティアの実施回数
				目標	令和6年度以後/年 10回（18日間）以上
経済	スキルアップの為に資格取得や講習会等受講にかかる費用を全面的にバックアップし、各自のキャリア形成の育成を支援し、力強い組織を築く。	④質の高い教育をみんなに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑧働きがいも経済成長も	【令和4～5年度2カ年実績】 18名、13種の資格取得・講習会等受講（国家資格、技能講習、特別教育、研修等）、37件	指標	資格取得および講習会等受講を支援する、対象人数と資格取得件数
				目標	令和6年度以後/年 人数：10名、件数：20件

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> ①環境：「快適トイレ」の導入 ⇒ 発注者と現場責任者との間で導入趣旨説明をし合意形成を図る ②社会：ボランティア活動 ⇒ 参加団体および自社独自の年間活動計画を立て、取組みを共有し実施する ③経済：資格取得・講習会等受講の支援 ⇒ 自薦・他薦により年間計画を立て、取組を共有しサポートを図る 各重点項目を掲示し、全社を挙げて目標数字の達成に向けて活動する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	